

第8回目のGIS News! です

山形でも、春の訪れと共にようやく桜を楽しめる素敵な季節となりました。そんな心も体も安らく季節、GISNewsを読んで、一息入れませんか？さて、8回目となりました今回は前回に引き続き『数値地図』について説明していきたいと思います。

今回の話題

今回は、数多く市販されている数値地図の中でも、国土地理院で刊行されている数値地図にスポットを当ててご紹介していきたいと思います。

国土地理院刊行の数値地図

国土地理院からは、以下の数値地図(代表名)が刊行されております。それぞれ特徴がありますので、その違いをご紹介します。

数値地図 2500(空間データ基盤)

1/2500 都市計画図を基に、行政区域、街区、道路線、直轄国道 1/500 道路台帳図データ、鉄道、駅、建物、基準点等の基本的な情報をデジタル化した地図で、GISに適したデータ形態をしております。防災・都市計画・施設管理・観光・教育等の幅広い分野での利用が考えられます。(山形県は現在未刊行、平成13年度中には刊行されるようです。)

数値地図 25000(地図画像)

国土地理院発行の2万5千分1地形図を数値化した画像データ。当組合でも、広域に場所の把握が可能である為、GISの背景データとしてデモ用システムに使用しております。

数値地図 50mメッシュ(標高)

地表約50m間隔に区切った方眼(メッシュ)中心点の標高を、2万5千分1地形図から計測したものです。このデータは、地形を三次元表現する鳥瞰図等のほか、傾斜分類等の地形解析などに利用されます。

以上、三種類の地図のご紹介でしたが、イメージはつかめましたでしょうか？GISをお考えの場合、上記のような地図と上手につきあうことも大切なことです。地図でお悩みの方がいらっしゃいましたら、当組合へ気軽にご質問いただければ、アドバイスをさせていただきます！

次回のGIS News!

次回は5月14日発行予定です。よろしくおつき合い下さい！

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 石澤 発行日：2001年4月23日

